

日本共産党 八尾市会議員団

ニュース



八尾市議団
HP

八尾市本町 1-1-1
八尾市役所内

Tel 991-3881 (2796-2797)

E-mail yao.com@siren.ocn.ne.jp

2026 年 7 月号 NO. 349

個人質問で 矛盾を追及

6月議会が終わりました。日本共産党は、個人質問で八尾市の存続に関わる都構想の問題や修学旅行の無償化、25号線バイパスの矛盾と身近な道路の予算があまりにも少なすぎるなど取り上げました（2面詳細）。

行政の後退を 許さない

補正予算で来年度に家庭ごみ収集の民間委託業務をさらに広げていく予算が提案され、日本共産党はごみ行政がいつそう後退するという立場から反対しましたが、賛成多数で可決しました。

これから行われる業者選定に対しても公平・公正・競争性が発揮されない可能性が高いと中止を求めました（3面詳細）。

範囲が限られる 在宅子育て給付金

国の補正に伴う物価高騰対策交付金を活用した在宅子育て

市民の願いに寄りそう議会を

生活と営業を守る議員団



修学旅行無償化・25号線バイパス・国保料引き下げなど

て給付金が追加で提案され全員賛成で可決しました。共産党は国の補正予算が少額すぎて限られた範囲しか給付されないことを指摘し、同時に八尾市独自で上乗せをし、広げていくことを求めました。

そもそも消費税減税は範囲も期間も限定で、賃金引き上げ目標は放棄、国の物価高騰対策はなされておらず、そして補正予算は大変少額でなんのメッセージも持っていないません。

国保料逃れ

議長の強い決意

なを、国保料引き下げと国保逃れの調査を求める請願が議会に提出（日本共産党が紹介議員）され、審査されましたが賛成は共産党のみで採択には至りませんでした。

しかし、この間の世論の力が後押しとなり議会の閉会のあいさつで議長が国保逃れの議員に対し遺憾の意を表明し、引き続き協議していききたい旨の強い決意を示しました（3面詳細）。

政府懇談しました

駐屯地と

八尾空港について

6月5日に東京で政府懇談を行いました。日本共産党は、駐屯地拡張に反対し、八尾空港への米軍機飛来の自衛隊と特定利用空港に指定しないよう求めています。

議員団が実施した市民アンケートでは、「反対」「分からない」の意見が7割から8割と多く、目的など情報提供を求めていることを伝えました。自衛隊八尾駐屯地の拡張のための総額20億円（施設内予算）の土地買収の目的と八尾空港に飛来する米軍機の機種や目的の情報提供を求めましたが、「検討中」「米軍から情報提供がない」などを理由に、明らかにしませんでした。

オスプレイの配備や訓練計画は今のところないこと、八尾空港の滑走路の延長や耐火荷重予定もないこと、は確認しました。

その一方で、スタンドオブミサイルの配備については全国対象に検討中であること、有事の際には当然、八尾自衛隊駐屯地を活用することなど明らかになりました。また政府は、戦争に備える八尾駐屯地のインフラ整備に強い関心を持っていることも明らかになりました。

何よりも大軍拡でアメリカとともに戦争できる国家への暴走を止めることが必要だと痛感しました。

大阪都構想は八尾市も廃止？

個人質問

おち 妙子



Q・もしも、「都構想」がとおったらどうなるの？

大阪市が廃止されて「特別区」に分割された場合、その特別区に隣接する八尾市を含む10市の自治体は、自治体丸ごと「特別区」に。そうなるとう首長の提案を議会が議決をするだけで、住民投票もなく「市は廃止」。八尾市はなくなります。

Q・「八尾市がなくなる」ってどういうこと？

八尾市がなくなり、「特別区」になれば、道路、公園、下水道整備などの都市計画の決定権限は大阪府が握ります。また、それまで市固有の財源だった法人市民税や固定資産税、都市計画税などの重要な財源は府が課税・徴収。地方交付税も大阪府に入ります。

大阪府に入った税金と交付税を「特別区」に配分することと、配分を見直す権限を持つのは、大阪府と府議会です。

つまり、自らの街づくりを自主的に決められない、財源の配分も府にお願いしなければならないということです。だから「半人前の自治体」

と言われているのです。

ちなみに、八尾市の自己財源が現在約400億円。そのうち「大阪都」に吸い上げられるのが約300億円。そして、現在八尾市に入っている「地方交付税約180億円」も「大阪都」に入ります。

まさに、自分たちのことを自分たちで決められなくなり、財政も「お小遣い」程度しかもらえなくなるのです。

当時の報道によりますと、市長は、R2年に「市民にメリットがあるなら特別区に入るのも可能」と述べています。

このどこにメリットがあるのかとの私の質問に市長は、「今の段階では言えない」と答弁し、特別区への編入に固執しています。

25号線バイパスより

道路補修や歩道整備の優先を！

個人質問

田中ゆう子



道路の凸凹や傷んだ狭い歩道で困っていますか。

八尾市では、補修が必要な幹線道路約200kmに対し、毎年補修できるのは約1.5km。生活道路は幹線道路の約9倍ありますが、計画的な

市民のメリットなんか全くありません。だから、大阪市民は二度にわたり「大阪都構想あかん」の判断を下したのです。

こんな「大阪都構想」は「八尾にもいらん」の声を大きく上げていきましょう。

物価高騰のなか、こどもたちの修学旅行の費用が足りない現状になっています。「義務教育は無償に」小中学校の修学旅行費を無償に！

教育長の答弁は、「修学旅行費は無償化についてであります。就学援助制度の中で、対象の保護者に必要な費用の一部を援助しております」。

一部ではなく、だれもが安心して修学旅行に参加できるように無償化することが必要です！

調査もなく、その都度対応で年間約3kmしか補修できていません。背景には、道路補修費を約3億円に抑えていることがあります。しかも歩道の整備は毎年約400mしか進んでいません。

一方で、市は約20兆円ともいわれる25号線バイパスを推進。しかし、市の資料でも交通量の減少は16%にとどまります。

私は「巨大大道より、今困っている道路や歩道の整備を優先すべき」と求め、市も現在の予算では十分でないことを認めました。今後道路

生活保護世帯の追加給付

厚労省が行った「10%もの生活保護基準引き下げ」は違法！

最高裁は、「厚生労働大臣の判断の過程及び手続には、過誤、欠落があった」と指摘し、違法と断罪し、当時の生活保護利用者に追加給付を行うと決定しました。

しかし、厚労省は違法改定によって減額された部分の約半分だけしか戻さないというのです。全額給付しないとしています。二度にわたる生活保護利用者への国による裏切り行為です。絶対に許せません。原告やその他の人たちは、さらに審査請求をしていくといわれています。

一刻も早く、誰一人漏れることなく、全額支給されることを強く願い応援していきたいと思っています。

補修・歩道整備の予算拡充に全力を尽くします。

また、亀井・竜華小学校の職員トイレ（和式のみ）や西郡認定こども園（男女共用で和式率高い）の職員用トイレの環境改善、さらにウオッシュレット未設置の緑ヶ丘・久宝寺・南高安コミセンへの設置も求めました。市は課題を認識し、「改善・検討する」と答弁しました。

国民健康保険料は

値上げではなく 値下げを



市民団体から提出された
請願署名

議員による「国保料逃れ」が大きな問題となっています。八尾市国保をよくする会(代表:吉川均さん)から以下2項目の請願が提出されました。

① 2026年度の国民健康保険料は値上げでなく、値下げすること

② 八尾市が国保事業の事業主として、議会の協力も得て、速やかに「国保逃れ」について調査をし、違法行為があれば未納分を納付させること

高い国保料に今年度からは、さらに上乘せをして、健康保険に全く関係のない「子ども子育て支援金」なるものが付加されて、さらに高額になっているのです。加えて、異常な物価高。市民生活の現状から、「2026年度の国民健康保険料は値上げでなく、値下げすること」という願いは当然の願いです。

傍聴者からの
怒りの声

また、参政党から国保逃れの

指摘を受け、離党勧告を受けた八尾市議。市民は苦しい生活の中から必死で国保料を収めているのに、自分だけ国保料が高いからと、異常に安い他の保険に、違法・脱法的に入り「国保逃れ」をしていたということが報道されました。

ところが、この市議は「高い国保料下げてほしい」という市民の願いに「反対」しました。「調査して」の願いにも「反対」しました。賛成したのは日本共産党の2人の議員だけでした。傍聴者からは怒りの声が上がっていました。

議長も 国保料逃れは
遺憾と発言

議長からは「国保逃れの市議が判明したことは遺憾。議会としても協議していく」と言われました。

日本共産党八尾市会議員団は、二度とこのようなことを起こさないために全力で原因究明と国保料の引き下げに頑張ります。

以下、国民健康保険法(国保法と略す)と議会に寄せられた市民からの要望を紹介します。

★国保法第113条第2項

「国保の調査権限について」は、被保険者の資格、保険給付、保険料の算定に関し、調査の必要があるというものに関し、国保法により、資料を求めることができる」

★森・泊氏の要請書(一部抜粋)

市会議員は市民の代表です。保険料を決定し、チェック機能を果たす大切な役割を担われています。私たち市民は今般の物価高騰など厳しい生活実態のもとで、高い国保料であっても生活を切り詰めるが、国保料を収めてきました。

それが市民として、納税者としての義務だと考えてきたから

です。

それだからこそ今回の、市民に範を示すべき市会議員の国保逃れは絶対に許されるものではありません。

★小松久氏(元府会議員)の要請書(一部抜粋)

昨年末以来、地方議員の「国保逃れ」問題が社会的批判を浴びています。「国保逃れ」は国民健康保険加入者に過大な保険料負担を強いることになり、理不尽。

よって、八尾市議会として自浄能力を発揮し、国民健康保険に加入している八尾市議会議員名を明らかにするとともに、適切でないものについては、改善するよう求める。

日本共産党は、家庭ごみ

み収集の民間委託をさらに拡大する補正予算に反対しました。市はコスト削減を理由にしています。が、収集漏れ対応や災害時、ごみ減量・分別指導など、直営が担う役割は民間では代替できません。

ごみ行政は、単にごみを集める仕事ではなく、市民と行政が協力して減量・資源化を進める公共

ごみの減量は 効率追及では実現しない

サービスです。効率だけを優先して直営を縮小すれば、その力は弱まります。日本共産党は、市民の暮らしと環境を守る立場から反対しました。また、前回の入札で市長の政治資金パーティでの業者との関係と入札結果の異常さを指摘。

その反省と教訓もなくさらに民間委託を拡大するための業者選定を中止するよう求めました。

弁護士さんの法律相談で

ミニ法律講座を開催しています

誰でも参加できる「ミニ法律講座」を開催し、「終活」をテーマに学びました。弁護士から、エンディングノートや遺言書の大切さ、相続登記や成年後見制度などの実例を交えて分かりやすく解説。



「財産が少なくても相続トラブルは起こる」との話に参加者は熱心に聞き入り、質問も相次ぐなど充実した学びの場となりました。

先月は「自転車に青切符」についても教えていただきました。30分のお得な無料講座です。次回は、「振り込め詐欺」です。

弁護士さんの無料法律相談

日本共産党八尾市議員団による

7月17日(金)

毎月、第3金曜日
日本共産党アリオ前事務所
でやってま〜す!

①朝、9時半〜10時まで

mini法律講座

振り込めサギなど編



どなたでも自由に参加できます!
騙されないで! そして騙されたら!

②10時から

個別法律相談



事前に連絡してネ! 必要な関係書類や
証明書(コピー可)などがあれば持参してネ

連絡先: 八尾柏原地区委員会 ☎072(991)6115

③市議員による生活相談も同時にやってます!

市議員の連絡先: おち妙子 ☎090(4290)5388 田中ゆう子 ☎090(3278)4974



竹瀬のごみ不法投棄現場を市民とともに解決。小松元府議と村山なな日本共産党八尾市くらし相談室長。



市民の願いに寄りそう 日本共産党の活動

3年前から「私ら買い物難民。近くに買い物できるところないから、中央環状線渡って行ってる。近くに欲しい」の声を受け、議会でもとりあげ、市に申し入れをする中で、地主さんの協力も得て、この度、スーパーの設置が実現!

小松元府議、村山なな日本共産党八尾市くらし相談室長、おち市議が現地視察に。



←自衛隊駐屯地と八尾飛行場について政府懇談にのぞむ(左から)内藤こういち元八尾市議、田中八尾市議、江村柏原市議。

→大門みきし衆院議員の議員控室で。

